

平成30年度 第3回美篤地域協議会会議録

開催日	平成30年9月26日(水)								
開催時間	開 会	午後7時00分			閉 会	午後8時30分			
開催場所	美篤きらめき館 第1、2会議室								
委員の出欠		委員氏名				委員氏名			
出席 15名 欠席 5名	1	中山 一成	出	8	吉田 宮雄	欠	15	丸田 旭雄	出
	2	中澤 春樹	欠	9	橋爪 依二	出	16	伊藤よし子	出
	3	木下 隆人	出	10	小林 光洋	出	17	兼子 俊彦	出
	4	矢島 莊衛	出	11	中村 敏一	出	18	大羽みのり	出
	5	山崎 勝	出	12	遠山 豊	出	19	黒河内 浩	欠
	6	根津 二郎	出	13	渋谷 明	出	20	白鳥 敏明	欠
	7	小松 千里	欠	14	山岸眞由美	出			
署名委員	渋谷 明			丸田 旭雄					
委員以外 の出席者	なし								
市側の 出席者	なし								
出席した 事務局職員	美篤支所長 伊藤 明生								
協議事項	1 地域の課題について 2 その他								
配布資料	1 名簿 2 地域の課題について (1) 学童クラブについて (2) 要望書(案)(学童クラブ、美篤駐在所の移転改築、三峰川右岸道路の安全対策)について (3) 子育て支援、魅力ある地域づくりについて								

## ■概要

### 1 開会

伊藤美篤支所長の進行により、午後7時に開会する。

### 2 あいさつ（中山会長）

### 3 委嘱書の交付

選出団体等の長の交代により

美篤財産区議長 橋爪 依二委員に委嘱書を交付

### 4 会議録署名人の指名について

会長から、13番委員 渋谷 明委員と、15番委員 丸田 旭雄委員を指名

### 5 協議事項（会長議長）

#### (1) 地域の課題について

##### ア 学童クラブについて

事務局から、配布資料に基づき説明

(会長) 学童クラブ指導員の聞き取りも含めて、資料の中で質問等あったらお願いしたい。

～質問なし～

(会長) 特に質問がないので、前回の話し合いの中で学童クラブの指導員の話にもあるように、当面のやりくりと本来の高齢者の施設であることから、学童クラブ専用の施設について、要望をやっていったほうが良いのではという意見があり、その点も事務局から説明してもらい意見を伺いたいと思う。

事務局から要望書について説明

(会長) 案という形で説明してもらった。これも含めて、今後どのようにしていったらいいかお伺いしたい。

(委員) 学童クラブ専用施設、要望書はこれでいいと思うが、伊那市の他の地区でも施用施設をもっているところはたくさんあるのか。

(会長) 学校内にある施設はどこであったか。

(委員) ほとんどの学校が、学校の中の教室のひとつを学童クラブに使っている。専用の施設があるのはあまりない。学校の敷地でないところに学童クラブがあるのは、美篤小学校だけだと思う。

(事務局) 承知している範囲では、西箕輪小学校の学童クラブが、昨年、旧教員住宅を改修して造っていると思う。伊那東小学校は、新校舎を造るときに住宅があり、その住宅をそのまま残し、学童クラブの施設として使っている。

(会長) 美篤小学校の学童クラブも、もとは小学校内の一教室で行っていた。クラス

編成の関係で、学校で用立てるスペースがないということで、ほっとセンターを使うようになって4年ぐらいになる。

(委員) 戸締り等はどうしているのか。

(会長) 学童クラブの指導員は、専用の鍵を持っており、学童クラブ以外の利用団体の人は、その都度、支所に鍵を取りに来て、終わったら鍵をかけて、返すというかたちをとっている。

(委員) 私の記憶の中では、学校の施設ではまずいからということで、子どもたちをほっとセンターの施設で預かってもらえないかという話があったような気がするが、基本的にはそうではないんだね。

(会長) まずいからということではなく、スペース的になかったということ。

(委員) 給食室の跡地でも確保できればありがたい。

(会長) 先日の小学校の運動会の時に、小学校内で昼を食べたので、新しい給食室の現場と現在の給食室を見て、結構なスペースで、ここが学童クラブにしてもらえればいいと、見た人で話をした。本当にできれば一番いいと思う。スペースもいいし、連絡もいい、送り迎えの駐車場スペースある。交通には気を付けなければいけないが、いい場所だと見てきた。

(会長) 文面はもう少し検討し、事務局と正副会長にお任せいただき、専用の施設ができるまではやりくりし、専用施設ができるように応援というかたちで、基本的にはこういう文面で要望を出していくことでよろしいか。

～異議なし～

(会長) ありがとうございます。進めさせていただく。

イ 子育て支援、魅力ある地域づくりについて

事務局から、配布資料に基づき説明

(会長) 議論を進めるにあたり、説明を受けた資料に対して、質問意見があればお願いしたい。

(会長) 質問を含めて、議論を進めていきたい。お願いしたい。

(会長) 先進事例をみると、その地域の特色、何があるのかを把握したうえで、始めていくことをしないと、何の特徴もない。ただ、「おいで、おいで」では、どうも駄目であると感じる。事務局から紹介のあった、美篤小学校の子どもたちに、美篤のことを掘り起こしてもらおうということも、一つの参考として、出していただきたい。

(会長) 事例では、農協とか、生産法人が出ているが、農協では検討しているものや案はあるか。

(委員) 特別検討しているものはない。伊那市全体をみて、人口が6～7万人。全国で「伊那市」の名前を知っている人は、10人中1人しかいない。知名度が低い。伊那市はアルプスに囲まれたまちとPRしているが、ましてや美篤地区全体をみると、農業面では、お米単作地帯、園芸品目ではアリストロメリアを中

心にやっている。人が寄ってくる魅力というとなかなかない。事例にある高知県の馬路村は行ったことがあるが、柚子の大産地で、柚子の全国ブランドになっていて、東京の築地とか、あちこちに行っている。そういった部分が地域づくりに欠けている。

上伊那のアリストロメリアは全国一だが、それを知っている人はどのくらいいるか。生産者は努力しているが。地域づくりは何かを仕掛けて、人に来てもらう。長い歴史の積み重ねの中で、何もしなくても来るようなものが、下地としてあって、そこに人が寄ってくる。そういうものが地域づくりかなと思う。何かイベントをやって人を集めるのは、単発で絶対地域づくりにならないと思う。美篤の中で隠れたものがあれば、それを掘り起こしていくのが大事かなと思う。

(委員) 全国アンケートで、伊那市が子育てで全国1位になった。そういうのにうまくのかっていけないか。伊那市といっても、伊那市全体の話と思うが、それに美篤も関与しているのか。市全体なのか、地域で盛んなのが伊那市ということか。

(事務局) 市町村単位で、市町村の取り組みをいくつも取り出し、それを総合点で評価して、あの時は子育てしやすい田舎暮らしで、伊那市が1位になった。

(委員) 子育てのしやすい市の中の美篤にいるんだね。

(会長) 私たちが実感として感じない実態がある。

(委員) 伊那市では、地方創生総合戦略を打ち出していて、地域創造課がやっていると思う。地域おこし協力隊が、本年4月現在で、7名在籍している。そういう方が、地域の人とタックを組んでやっていると聞いている。彼らもやる気のある所には、話を聞きに来たり、勉強しに来たり、ということをやりたいのではないかと思う。我々もそういう気持ちがあるならば、志を一にする人たちと、ざっくばらんの話し合いの場を設けるとか、自分たちだけの輪の閉塞的な関係だけでなく、ほかの人たちの力を使って、実現していくやり方のほうが、話が前に進むと思う。

(委員) 美篤の地区内に工業団地が2か所、上の原と六道原がある。企業の誘致関係状況は、分かるか。市がだいぶ取り組んでいるが、なかなか目に見えて進んでいないようにも感じる。

(事務局) 六道原工業団地は、2区画を造成し、売却先が決まっている。手元に資料がないので、規模は分からない。上の原工業団地は、NECの後に諏訪の会社が入り、北側の新しいところには伸和が入ると聞いている。

(委員) 敷地は確保したが、着工は時間がかかるとも聞く。地元雇用が優先するといっているが、連れてくると地元の採用にならない。目に見えない。

(会長) 伸和は全区画か。

(委員) 北側の区画の半分。

(会 長) 六道原は、全区画を活用するという事で決まっている。雇用も創生される。  
(会 長) 今日、結論出すことではないので、疑問に思うこと等、色々出していきたい。

(委 員) 資料の補足をしたい。前々回、地区によっては子供が少なくなってしまうという話があった。学校で出生から統計をとってもらった。小学生の現状372人が、平成36年には287人になる。5、6年後には約100人が減るといいう資料となっている。そういう見方をしてほしい。

美篤小の子どもを守り育てる会があり、地域協議会の関連という中で、学校を中心に動いて新たに「子どもを守る安心の家」が加わったので紹介させてもらった。

(会 長) なかなか深刻。子どもが小学校に上がるころには、美篤の家へ帰ってくる人も大勢いるという期待もしたいが、基本的にはこういう数字だと思う。

(会 長) 今日、結論ということではないが、今後の議論を進めていくために、本日としては、数人から貴重な意見をいただいた。次の課題として、一つが、美篤に何があるのか。美篤だけにしなくても伊那市の他の所の状況から学ぶということも含めて、美篤に何があるか、議論を進めるために次回までに出してきていただきたい。

その他、資料として、伊那市としての支援策、方針をもう少し知りたい。それとマッチさせていく必要がある。具体性のない文章表記であるが、具体的なものを出してもらいたい。地域おこし協力隊の活動についても資料をそろえてもらい、次回の協議を進めていきたい。よろしいか。

～異議なし～

ウ 美篤駐在所の移転改築について、エ 三峰川右岸道路の安全対策について  
事務局から、配布資料に基づき説明

(会 長) 要望書を提出していくということでたたき台を作成してもらった。最初に駐在所の移転の関係について、宛先により文書も異なるので、どちらかということをもってもらって意見ををお願いしたい。

(会 長) 去年は、市長、警察署長も同文書でお願いした。警察・公安委員会にお願いするにあたり、市長へは一緒に行動してもらうことを含めて、2つの文書は内容を変えて作成してあるので、文書表現も含めてお願いしたい。

(委 員) 交番化構想という厚い壁がある。地元としての要望を毎年、根強く、意見を反映させるのが第一歩。もう少し地域の声を強めていく方策があるか、合わせてやっていかないと地元の署長、駐在所が動けない。粘り強くやっていくということだと思う。

(事務局) 手良の区長会長から、「昨年、美篤で駐在所の要望を出したと聞いた。手良でも美篤駐在所が地域に入ってやってもらっているので、要望を検討していきたい。」と言っていた。美篤として独自にやっていくことも大事だし、手良とも

連携していくことも方策かと感じた。

(委員) 交番構想は、三峰川の南側へ行くということなので、住宅団地ももっている手良、前原、美原、仙美、美篤の大きな5つのところで、出していないと、大学生が交番で刃物を振り回すという死亡事故も起きている。いつ、どこで、犯罪が起きるとも限らない。交番化構想を聞いておいて、住民をどうやって守るかという話を積極的にしていかないと、だんだん県の方針に従っていくようになってしまう。ある程度強い意見をもっていかないといけないと思う。

(委員) 昨年も手良地区と一緒にという話があったと思うが、それはどうなったか。美篤だけ出したのか。

(委員) 要望書は、市議会議員にも動いてもらい、県議会議員の二人にも直に要望書を出し、警察署長や市長にも直接行ったが、地元の声の大きさがもう少しないと、交番化構想を打破することがなかなか難しい。という方策で膠着しているのが実情だと思う。

地元は、常に要望があるということと、要望書にプラス何かをできるかどうかということだと思う。バイパスの構想がだんだん詰まってきたので、バイパスの道路ができた段階で、場所はあそこだという構想が一つある。まだ10年も先だという話と、1、2年過ぎていけば道路もそろそろ開いてくる。明確な答えにならないが、いずれにしても地元の要望をもう少し強く出していないと、なかなか打破できないと、昨年やっつての感じである。

(会長) 手良と一緒にという話があったかは分からないが、本年、駐在からも美篤と手良の両方でできないかという話は聞いている。手良の区長会長に声もかけたし、支所長も声をかけたということであるが、本協議会ではそういう前提ではなく話をしているし、美篤地区の下水道工事とか特殊ものも入っているので、まずは、これで進めて、何回でもいいという中で、場合によっては手良とも一緒に行ったり、天竜川と三峰川で挟まれた地域での取り組みもできないかということも検討していかなければならない。

とりあえずは、毎年出していくことが必要なので、要望書は提出して、次の段階の課題の声を大きくしていくことも検討が必要と思う

(委員) 継続した活動をお願いしたい。

(会長) 文章上の表記については検討させていただく。今回については、市長あて、伊那警察署長あての2つを出していきたい。手良とか他の地域や県議とかは、検討して次の時に提案ができればと思う。

地域の声を出していく方法もあつたら出してもらえばありがたい。

(会長) 三峰川右岸道路の安全対策について、文案を含めて意見をいただきたい。

(会長) 話はしてあると思うが、青島地区では青島区長名で市長へ要望書を出してある。主な要望事項は、一つが側道を設置してほしい。二つ目が看板を含めて安全対策をお願いしたい。それから、現在のものを活用して自衛手段はやるとい

うことのなかで要望した。側道は大きな問題なので、できない、むずかしいということ、看板は設置し、それを含めて安全対策をしていきたいので、提案があったら出してほしい。という回答をもらった。

本協議会でも要望書を出していきたいという経過の中でのたたき台である。

(会長) 美篤地籍の右岸道路となるので、境と青島の境から三峰川橋までの全線を対象ということの要望である。

(委員) 積極的にお願いしたい。

(委員) 要望書は初めてか。

(会長) 美篤地区としては初めてである。

(委員) 5月1日の交通事故は、確か亡くなられたと思う。交通死亡事故にしたかどうか。

(会長) 警察の統計では24時間以内の死亡が、交通死亡事故となるが、それに準ずる大きな事故ということで、青島区でも交通死亡事故という表現を使った。統計上は認めていないが、そのとおりとしたい。強い表現でよいのではないか。

(委員) 信号機などを付けることはできないか。

(会長) 安全については、難しい。手続き上もあるが、逆効果になるとかもあるので、具体的な表現はしなくて、いわゆる安全対策についてよいものをお願いするという表現にしておかないといけない。信号機があったため事故が起きたとか、追い越し車線のこともそうである。50km規制してあっても、50kmで走行しているかということと危ないのは90km、100kmで走行している。そういう車が追い越しをかけ、三追い越しをかける車もある。それを40km規制にした時にどうなるか、余計に危険ではないかというようないろいろな見解もある。こちらからああしてくれ、こうしてくれとはいえない。警察などの専門家で検討してもらい、こちらではよければ、ぜひ、そのようにしてほしいというかたちにしていかないといけない。

(委員) 農耕者優先道路で、道路際に農地があるが、戸隠様から産直市場まで一直線、遠くにいたかと思って、渡ろうとするとすぐそばに来ている。命がけで、耕うん機を持っていた場合は、がつんとやられてしまう。本当におっかない。早急にしてもらわないと、第二、第三の事故が起きると思う。

(会長) 市道認定になっているが、農道としての補助金が入っているということで農道という位置づけなので、目立たない看板だが、農耕車専用の看板も市で作ったものである。それを三峰川橋まで含めて目立つようをお願いしている。その作成には取り掛かっているという認識でいる。

文章表現はもうひと検討させていただくとして、美篤地区としては、これを基本として出していきたいと思う。事務局で担当課をどこにしたら良いか検討してほしい。青島の際は、153号バイパスの関係で建設課に相談し、建設課に正本、交通安全担当課の生活環境課、道路管理関係の管理課、農道の耕地林

務課へ副本を渡した。窓口は建設課ということで渡したが、交通安全担当のほうがいいかなと思うが、有効な窓口へ出していけるよう検討・研究してほしい。担当課等も検討するが、正副会長と事務局にお任せいただき、出していくということによろしいか。

～了承～

(委員) 要望書はいつ頃出すのか。

(会長) できれば10月中旬までに出したい。

(事務局) 市長等の日程調整も必要。日程を確認したうえで、10月中ぐらいを目途に、また、相談したい。

(会長) 10月中のなるべく早い時期にしたい。日程調整も含め、お任せいただきたい。

## 6 その他

(事務局) 次回の協議会の日程は、各種団体協議会（全体会）の日、その後でよろしいか。

(会長) 全体会の終了後、残っていただく。11月28日の各種団体協議会、総会の後をお願いしたい。宿題があるのでいい案を持ってきてほしい。

## 7 閉会

会長から閉会のあいさつ